

佐事研だより



佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 松本 賢次郎

会員各位

梅雨時ははっきりとしない天気が続いておりますが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今号は、5月31日(金)に開催されました佐賀県公立小中学校事務研究大会についての報告です。

第44回 佐賀県公立小中学校事務研究大会 報告



会長あいさつ

佐賀県公立小中学校事務研究会 会長 井手 和久
挨拶 会長職務代理者 白武 啓介

本日は元号が平成より令和に改元されて第一回目の大会となります。私たちは新年度の所属異動等を節目と考え、業務改革や新たな目標を立てます。一人一人の思いは多方面に渡り、温度差もあると思います。この違いを大切にしながら調和をはかり、目標を実現するためにも、共同実施、地区事務研、事務長会、統括事務長会、佐事研があります。これらの組織すべてに役割があり、教育行政はどうあるべきかを模索し実践しています。



働き方改革が叫ばれる中、特定の会員に負担がかからないよう、組織での役割分担に配慮し、全会員、全組織のベクトルを束ね、一步一步改革を進めてほしいと思います。会員一人一人がやりがいを感じる組織として佐事研が進化し続けることを願っています。

来賓あいさつ

4名の来賓の皆様よりご挨拶いただきました。

佐賀県教育委員会 教育長 白水 敏光 様

(挨拶 佐賀県教育庁教職員課参事 徳永 丞 様)

佐賀県市町教育長会連合会 会長 武雄市教育委員会 教育長 浦郷 究 様

佐賀県小中学校校長会 会長 佐賀市立巨勢小学校 校長 富永 英美 様

佐賀県立学校事務職員協会 会長 佐賀西高等学校統括事務長 岩崎 正 様

今回は、教職員課参事 徳永様のご挨拶を紹介させていただきます。



新元号が令和となり、一つの時代が終わり、また新たな時代が幕を開けました。教育現場を取り巻く環境も情報の高度化や科学技術の急速な進歩などにより日々目まぐるしく変化しており、教育に携わるすべての者に社会の変化に柔軟に対応していくことが求められています。現在策定作業が行われている、総合計画2019においては、新たに「志を高める教育」を掲げる予定です。子供たちが未来に対する高い志を持って自律的に生き、社会の形成に主体的に参画するための資質能力を確実に育成するための取り組みを推進することとしています。

県教育委員会では、平成30年度よりすべての学校事務職員を教育行政職員といたしました。教育行政職員は、学校組織マネジメントによる効果的な業務遂行や業務効率化を行うための重要な学校経営担当職員であり、教頭、主幹教諭等と共に校長を補佐して学校経営を担う存在です。直面する多様化、複雑化した教育課題に的確に対応するために、学校経営の積極的参画と共に、学校の組織の一員として、子供たちに積極的にかかわり、学校行事等の教育活動を共同して支えていただきたいと思います。

講演1 「教育行政職員に期待するもの」

佐賀市立本庄小学校 校長 富吉 猛 様

学校の課題に対する改革改善の取り組み方について、自身の学校での取り組みを例にわかりやすく教えていただきました。また、改革改善のために大切なこと、リーダーとして大切なこと、教育行政職員として学校運営にどう関わってほしいか等、期待と願いを込めながら熱く語っていただきました。



- ・学校の中には職、年齢、学年、学級など様々な壁があるが、コミュニケーションや情報共有により、気持ちを一つにし、学校の課題の共有化ができるようになることが大切。
- ・教育行政職員には、校内の授業の見守り、行事、あいさつ運動、会議等へ積極的に参加してもらい、学校の課題を教育行政職員から見た課題として受け取り、改革改善のアイデアを出してほしい。
- ・リーダーシップを発揮し、人を動かすために大切なことは、すぐに結果が出ないことでも、半年後、数年後を見据えて種をまく。不安でもつらくてもポジティブ発言をする。仲間を信じ、認めること。
- ・教育行政職員は、縁の下の力持ちではなく、学校教育の柱であってほしい。
- ・自分の学校の子どもについて熱く語れるようになってほしい。

研究発表 I 「学校における働き方改革とグランドデザイン」

佐事研研究開発部グランドデザイン班

今回の発表では、文部科学省から出された通知「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（通知）」と佐賀県版学校事務のグランドデザイン ver 1.4 との比較を行なった結果を報告しました。

比較は以下の流れで行いました。



- ① 通知文から事務職員関連項目を抜き出す
- ② 関連項目に注目し、何を想定しているのか（何を求められているのか）を考える
- ③ グランドデザインの中に取り込まれている部分をグランドデザイン関連項目としてまとめる

分析の結果、通知によって示されたことは佐賀県版グランドデザインにすでに含まれていることであると判断しました。つまり、働き方改革は新たに業務が増えるということではなく、私たちが今歩んでいる行程の中に既にあるといえます。

これまで通りグランドデザインに従って業務を行い、自らの技量を高めていくことが信頼される教育行政職員となると同時に、働き方改革にも寄与できる存在になることができるのではないのでしょうか。

今後は、学校事務職員から教育行政職員への変化とそれに伴う標準的職務の通知をグランドデザインにどのように取り込んでいくかが新たな課題といえます。

講演 2 「サステイナブルなまちづくりを目指して」

いきいき唐津株式会社 専務取締役 甲斐田 晴子 様

まちづくりを通して持続可能で幸せな社会を築いていくために様々な事業を企画してこられました。その事業の内容や企画を通して得られた経験について、PDCAの流れに沿って詳しくわかりやすく説明していただきました。すべての事業において「機会」「きっかけ」をどのようにして提供していくのかということをお大切に考えられていました。

●お話しいただいた事業・プロジェクト

- ① 歩唐（あるから）、カラツ大学
- ② カフェ&シネマプロジェクト
- ③ 唐津を題材にした映画「花筐」（はながたみ）



最後に私たちに向けてメッセージをいただきました。

これからの前人未踏の時代を切り開いていくために、まだ誰も経験していない課題を発見して解決していくための想像力、創造力、専門性、柔軟性が求められます。グローバル化が進むことによる語学力、ICTを活用する能力が大切になってきます。

また、ボーダレスに、グローバルに物事を見れば見るほど「自分が何者なのか」という「根ざしていること」がとても大事だと思います。それは家族であったり自分の故郷であったりします。これからの時代を切り開いていくのはみなさん、そして子どもたちです。これからの時代に対応するだけの豊かなたくさんの機会を子どもたちにどんどん与えていただけたらと思います。



研究発表Ⅱ 「教育行政職員の人材育成」

佐事研研究開発部研修制度開発班

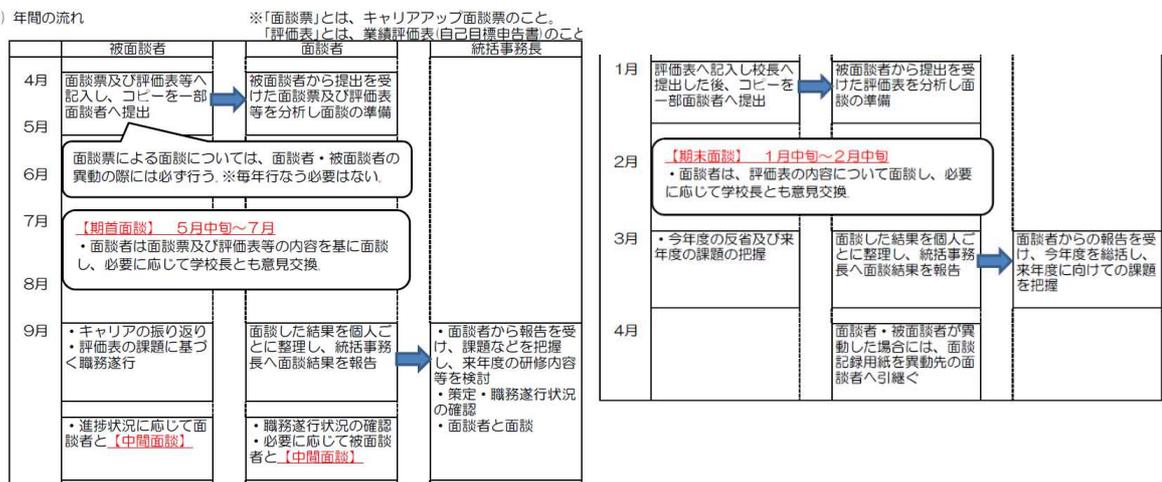
今回、教育行政職員の面談のやり方と、ねらい、年間の流れについて発表されました。

●面談実施の4つの観点

- 1 教育行政職員(個人)としてのキャリアアップ
- 2 佐賀県学校事務職員組織の発展
- 3 学校教育目標の達成のため
- 4 メンタルヘルスケアやモチベーションアップ



(1) 年間の流れ



2019年度 役員の紹介

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
会長	松本 賢次郎	小城市立 芦刈観瀾校	研究開発部長	海良田 祐輔	佐賀市立 昭栄中学校
副会長	西山 一也	吉野ヶ里町立 三田川小学校	研修企画部長	出雲 隆宏	白石町立 有明南小学校
副会長	田崎 利恵子	佐賀市立 城東中学校	情報推進部長	村井 雅俊	江北町立 江北中学校
副会長	才田 充治	唐津市立 第一中学校	事務局長	才田 充治	唐津市立 第一中学校
副会長	白武 啓介	武雄市立 武雄小学校	事務局次長 (業務)	江口 文子	鹿島市立 古枝小学校
副会長	廣川 富夫	鹿島市立 東部中学校	事務局次長 (財務)	森下 正俊	唐津市立 相知中学校



編集後記

教育行政職員となり2年目になりました。今回の大会を通して、教育行政職員として学校運営にどう携わっていくべきか、改めて考えさせられました。

今年度も新体制にて佐事研がスタートしました。新部長をはじめ情報推進部員一同、会員の皆様に向けてよい情報をお届けできるよう活動していきたいと思っております。今年度もよろしくお祈りいたします。

